



躯体内換気部材 土台水切(A型・B型・C型・D型・E型・F型)

■施工される方へのお問い合わせ

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意…施工を誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 接触時のケガのおそれがありますので、アルミ材エッジ部及びジョイント部は、継手部品を必ず使用してください。
- 水漏れのおそれがありますので、下記事項を厳守してください。
 - ・指定個所には、必ずシーリング材を塗布してください。(施工手順⑦)
 - ・沿岸地域・高台など、吹き上げの風が強いなどの立地条件の悪い地域では指定個所に防水テープを張り付けてください。(施工手順⑧)
 - ・土台水切施工後、必ず胴縁を450mmピッチで使用し、防風透湿シートのめくれを押さえてください。(施工手順⑨)

■換気面積一覧表

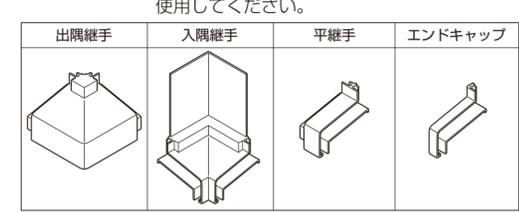
タイプ	寸法	本体換気孔面積	
		1本あたり	1mあたり
A型	φ=3780mm	-	-
B型	φ=3780mm	-	-
C型	φ=3780mm	0.0183m ²	0.0048m ² /m
D型	φ=3780mm	0.0183m ²	0.0048m ² /m
E型	φ=3780mm	0.0183m ²	0.0048m ² /m
F型	φ=3780mm	0.0183m ²	0.0048m ² /m

※A型・B型は、外壁の仕上げ方により異なります。

■土台水切一覧表

A型(ガードなし・外断熱30mm用)	C型(ガード付/通気層18mm・外断熱30mm用)	E型(ガード付/通気層15mm・外断熱30mm用)	B型(ガードなし・外断熱60mm用)	D型(ガード付/通気層18mm・外断熱60mm用)	F型(ガード付/通気層15mm・外断熱60mm用)
継手兼用			継手兼用		

■継手一覧表…継手は仕様に合わせて、下表から選んで使用してください。



※外断熱30mm用と60mm用があります。出幅によって継手が異なります。(兼用はできません。)

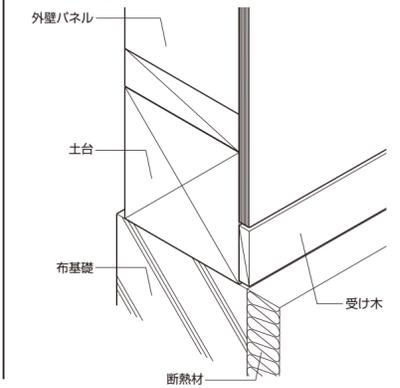
■土台水切施工手順

- 基礎の打ち込み
- 土台の取付け
- 柱の取付け
- 壁パネル(SW)の建込み
- サッシの取付け
- サッシ枠廻りのテープ張り
- 防風透湿シート張り
- 通気胴縁の施工
- 気密測定

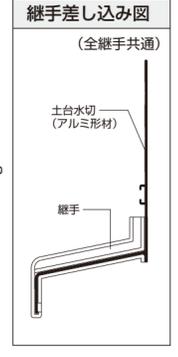
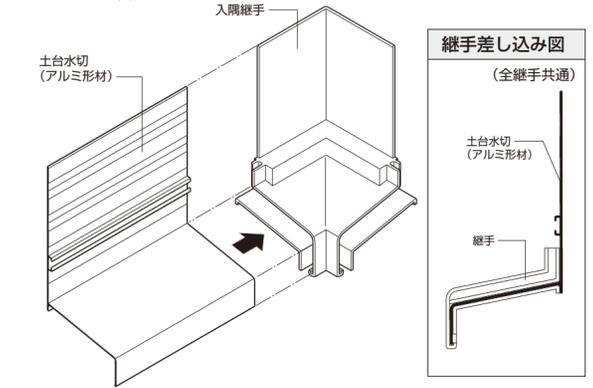
土台水切の取付け

※土台水切は、防風透湿シート張りの前に取り付けてください。

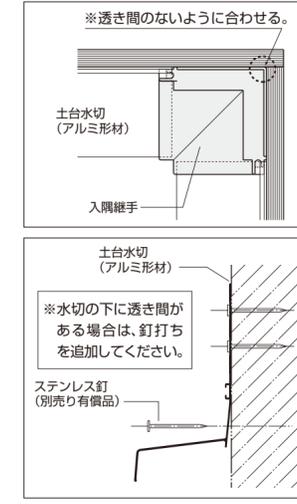
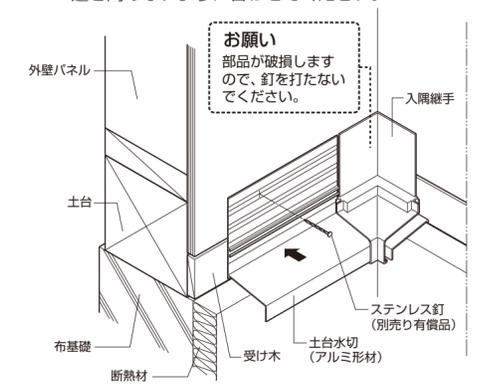
①土台水切の取付け範囲(外壁パネル下部から布基礎にかかる箇所)に受け木を別途準備して取り付けてください。



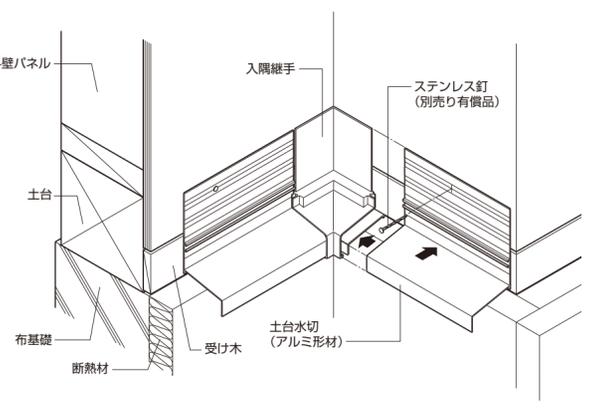
②土台水切(アルミ材)を指定の長さに切断(切断寸法算出方法は納まり図参照)し、継手を差し込んでつなぎ合わせます。



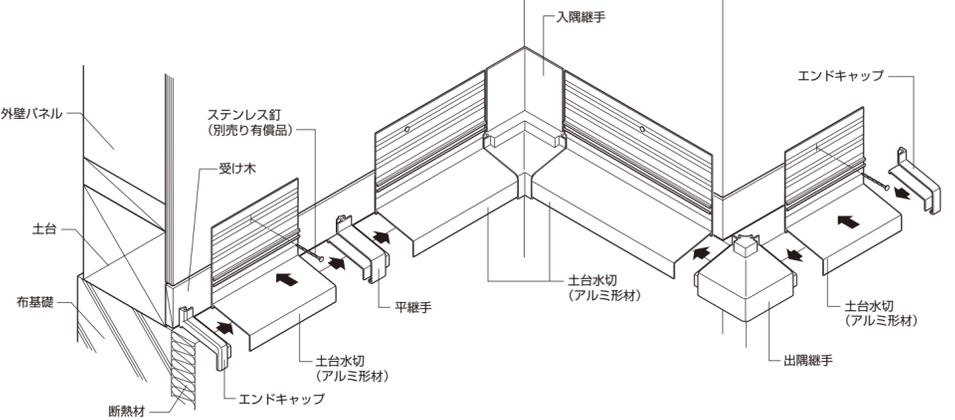
③土台にステンレス釘(別売り有償品)で土台水切を仮固定します。※外壁パネルのコーナー部と、入隅継手のコーナー部を、透き間のないように合わせてください。



④土台水切(アルミ材)を指定の長さに切断(切断寸法算出方法は納まり図参照)し継手に差し込み、ステンレス釘(別売り有償品)で仮固定します。

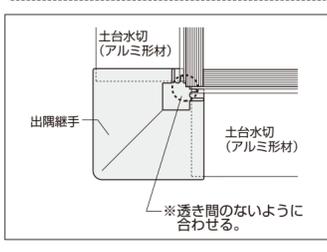


⑤土台形状に合わせ、継手→土台水切(アルミ材)の順に差し込み、ステンレス釘(別売り有償品)で仮固定します。



お願い

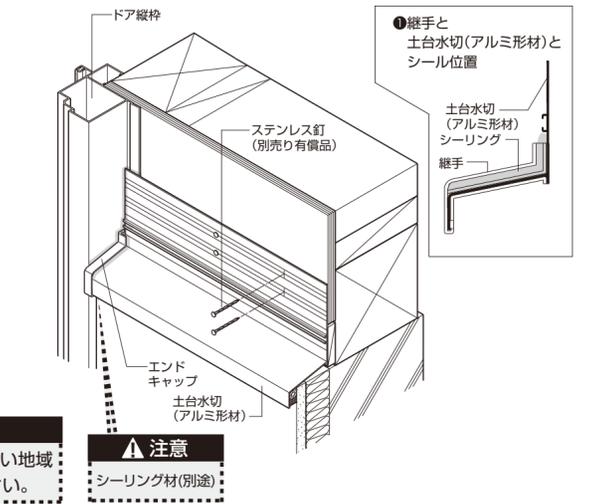
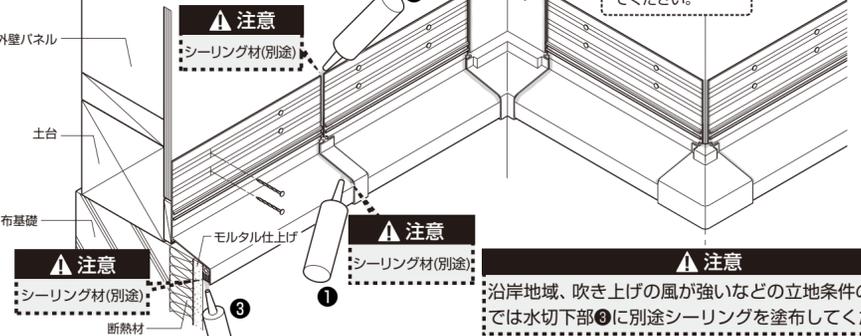
- エンドキャップの抜け防止のため、図のようにベンチで0.5mm程度の歪みを入れてください。
- ※この作業はエンドキャップ取付け部のみです。



⑥土台にステンレス釘(別売り有償品)で固定します。固定強度を高めるため、土台水切(アルミ材)のスジに合わせて釘を2列で打ち付けます。

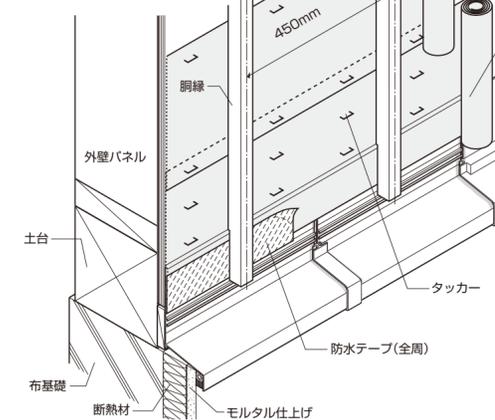
⑦土台水切の固定後、指定個所(1)継手とアルミとのジョイント部、(2)アルミどうしのジョイント部)に別途シーリング材を塗布してください。

※接着性を高めるため(1)部には「脱アルコール型」のシリコンを使用してください。



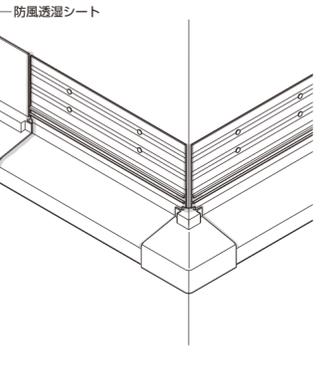
⑧防風透湿シートをタッカーで仮止めします。

※防風透湿シートは、土台水切(アルミ材)上面より30~40mm重なるように張り付けてください。

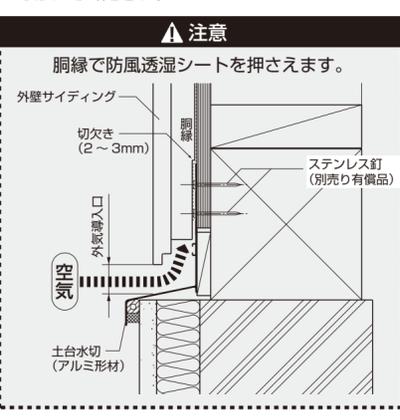


▲注意

沿岸地域、高台など吹き上げの風が強いなど立地条件の悪い地域では、防風透湿シートのめくれを押さえる防水テープを全周に張り付けてください。



⑨防風透湿シートを、胴縁を450mmピッチで使用し、土台水切の上まで押さえます。あらかじめ胴縁に土台水切の肉厚分(2~3mm)を切り欠いておいてください。



■参考納まり図

